

# 豊津地区コミュニティプラン②

## 豊津地区コミュニティプラン 第一回検討会開催

前回の「とよつだより」で、豊津地区コミュニティプランの概要と策定委員会で十分に審議されなかつた問題、今後の進捗管理方針について書きました。その時、今後の進捗管理において、できるだけ多くの関係者（団体）と協議の場を設け、「地域の力」を高められたらと考えています。」と記載しましたが、その協議の場として、九月十八日に第一回検討会を開催しました。

検討会のメンバーは、計画作成の際に結成した豊津地区コミュニティプラン策定委員会の構成委員と基本的に同じとしました。ただし、区長等充て職で選ばれている委員は当時と変わっていますので、現職の方にお願ひしております。第一回検討会では、コミュニティプランで計画した事業を令和五年度にどう実施するかを話し合いました。

コミュニティプランは令和二年度に作成し、令和三年度から五年度までに実施する事業を定めております。しかし、コミュニティプランの策定委員会が一回しか開催されず、プランの内容についての議論はなかつたこともあり、この事業の中には、コミュニティが実施するものとしては適当ではないものや、内容が精査されず、文言だけ書かれて具体的内容がわからないものも多くあります。また、計画期間が三か年なので、多くの事業を行うのには無理があります。

さらに、コミュニティプランには既存事業の継続と新規事業を定めています。令和三年度は既存事業だけの実施でした。令和四年度についても、既にまちづくり委員会総会において今年度実施する事業は決まっております。その中に新規事

### 豊津地区コミュニティプラン検討会委員

No	氏名	所属団体等
1	和田 勉	まちづくり委員長 他
2	海老澤 良政	まちづくり副委員長 他
3	宮本 勝典	新田区長
4	内野 安彦	大船津第一区長
5	松岡 重喜	爪木区長
6	糟谷 純子	うらら会会長 他
7	内田 博道	おおふなつ自警団
8	坂本 大輔	豊津小学校PTA会長
9	伊原 健市	消防団
10	高安 広子	市社会教育委員
11	桐生 進一	市役所協力委員
12	君和田 浩幸	市役所協力委員
13	沢畑 好一	豊津まちづくりセンター長

業ほとんど含まれていません。つまり、これまで新規事業はほぼ着手がされておらず、新たに実施するには、残りの期間がほとんどない状況にあります。

そこで、新規事業については、まずコミュニティが行うには適当でない事業を整理し、検討対象外としました。さらに残りの事業のうち、既存事業に付加する形でできるものを対象としました。検討した結果、この事業であれば来年度一年でもある程度実施可能と判断しました。今回はこの絞り込みまで行い、具体的な事業展開については事務局とまちづくり専門部会で詰め、次回の検討会で決定し、令和五年度のまちづくり事業に反映していきます。

具体的事業については、次回のとよつだよりで報告する予定です。



→ 検討会の様子

### 第15回 とよつふれあい運動会

令和4年10月8日(土) 8時30分～

※ 赤字は地区種目

開会式

- クイズチャンピオン (1～3年生：個人種目)
- ハッピーハロウィン (4～6年生：個人種目)
- 山あり 谷あり！ (1～3年生：団体種目)
- 二人でゴー！ (6年：親子競技)
- 成長を感じて！ (全校児童)
- つなひき (全校児童)
- 大玉転がし (4～6年：団体種目)
- 巻き起こせ、豊津旋風 (1～3年：表現運動)
- レッツ・ダンス！！ (4～6年：表現運動)
- ウィズ グラティチュード (4～6年：表現運動)
- 玉手箱 (65歳以上の高齢者)
- 豊津っ子ソーラン (全校児童)
- 紅白対抗リレー (全校児童)



( 終了：11時38分 )



(写真説明)

①校門脇で受付と検温・手指消毒/②今回のクイズチャンピオンは坂本紗良さん(小学5年生)に/③地区種目の大玉転がし/④低学年の可愛い表現運動/⑤高学年の見事な表現運動

### 運動会が実施に至るまで

第二回実行委員会 七月十四日  
この二年间でできなかったふれあい運動会を実施したい。  
食事は不安なので、午前中で終了させる。  
\*第二回実行委員会 九月十三日  
参加者の名簿を作成して、当日は受付で手指消毒 検温をする。  
地区種目は、児童種目の間に、密にならない種目を三つ実施。  
今回は特殊な開催とし、コロナ終息後は従来の形に戻したい。



### まきかた備え 合同防災訓練

七月十六日、鹿嶋市と豊津まちづくり委員会が合同で防災訓練を行いました。市では、避難所ごとに担当する職員が決まられており、今回は豊津公民館担当の六人の市職員が来ての訓練となりました。

今回の訓練は、茨城県で大きな地震が起き、豊津公民館が避難所として開設され、避難者を受け入れるという想定のものでした。新型コロナウイルス感染症がまだ終息していませんので、感染拡大防止に配慮した訓練となりました。

避難者を受け入れるにあたり、まず市職員が入り口で検温と問診を行い、コロナ感染の疑いがないことを確認してから、避難者名簿に名前等を記入してもらい、避難スペースへ誘導を行いました。

避難スペースでは、感染防止用のワンタッチ避難ルーム テントや段ボールベッドを避難者が自分たちで実際に設置しました。ベッドは割と簡単に組み立てられました。ベッドは割と簡単にはたいたむの少し苦労したようでした。

あいにくの空模様だったということで、訓練に参加した地域の方は十人七人となつたのですが、地域のリーダーの方が多く、もし災害が起きた時には今回の訓練の成果が生かされることでしょう。

